

目次

平和の尊さを伝えたい	船橋市長 大橋 和夫
編集にあたって	

従軍の記録

戦争と一兵士の回想	相田 利夫	1
真珠湾攻撃特殊潜航艇	新井 貢	7
喜寿が書いた体験談	飯田 幸一	10
私の青春時代	市村 清	13
いのちの初戦	伊藤 明	16
敵中、お産の手伝い	伊藤 信一	20
戦争体験記	氏原嘉治男	22
昭和の戦争と一兵士の回顧	江川 守久	26
軍隊と青春	大村徳太郎	42
青春の晩年	大森 勝美	49
私の従軍記	大矢 政雄	53
セブ島の惨影	小田 元徳	57

飛行第六六戦隊従軍記	加藤 武雄	61
陸軍特別攻撃隊(振武隊)のことなど		
戦場に消えた青春	金子 利一	64
日支事変に従軍	北迫 清次	67
太刀洗飛行場被爆点綴	熊谷 文利	73
赤道を越えての従軍記	沢田サツキ	77
果たせなかった仇討	瀬畑 啓次	79
従軍の思い出	高橋 シゲ	81
キスカ島よりの生還	高橋 東一	84
日中事変に出征して	高橋 久雄	88
戦争の体験	高橋 義光	92
軍隊教育(ルソン従軍記)	豊田 吉徳	94
戦争体験記	中沢 英雄	100
任地ルソン島へ	中野 正久	105
戦争と私の青春	中村庄太郎	109
大東亜戦争中支作戦に従軍して	成島 惣蔵	118
泛水作業隊(船舶工兵58連隊)の思い出	西広寛次郎	122
私の青春と大陸戦争体験	野田 留吉	127

沃丁(ヨーチン)	原田邦三郎	131
軍政要員として従軍の体験記	平野 正男	133
青春時代から応召復員まで	蛭田 春蔵	137
腹一杯めしが喰いたい!	福田 晴一	147
衛生部員の従軍記	福田 一	149
私の従軍記	平 蜂路	157
応召二回外地九年	松崎 省策	165
戦争中に於いての式年間を通じ記憶せる体験を 思い起こしつつ浮かびし事態を記述す	鞠子 保雄	169
潜水艦による南方基地への輸送	丸山 虎松	180
私の従軍体験記	三浦 芳雄	189
私の戦争体験記	峰 輝明	194
友の遺骨を抱いて家に届ける	森川 一郎	197
上海海軍陸戦隊と航空母艦翔鶴・天城の最期	柳田常四郎	199
第二次世界大戦の体験記	山上 講	203
戦中・徴用二十年四月現役兵として	養日 武夫	207

戦中・戦後の生活

□戦中生活の記録

戦時中の青春	荒木田ヒデ	209
戦下の爆弾のこわさを思い出して	池崎 つよ	211
私の戦争体験記	今井 ミヨ	213
戦争体験記	今西 芳子	217
銃後の留守宅	植村 周子	220
私の戦争体験	小倉 節子	222
南の空	小野瀬園子	224
大戦中船橋市にて	川奈部眞佐雄	225
戦時下の母の年齢を越えて想うこと	黒澤 良子	226
さくらに、いかり	小松 澄子	229
私の戦争体験記	鈴木 くら	232
青春を銃後の守りに徹して	須磨ミサヲ	237
軍歌をくちさむとき	高木 鶴子	240
空襲下の結婚式	高橋 星湖	241
ああ我が青春に悔いあり	瀧沢 鈴子	245
銃後の守り	武内 なか	249

我が終戦までの軌跡	土屋 博	250
永遠に、平和への願い	中野 綾子	253
銃後	長谷川三枝子	256
応徴士(軍属)	松浦 利満	259
私の戦争体験記	松村 明子	263
□疎開の記録		
疎開先の思い出	岩田 愛子	268
思い出	宇野 三代 尾崎 昌子	270
小さな願い	時田 侑哉	272
学童集団疎開体験記	中村 敏和	275
東京大空襲と集団疎開	吉原 茂夫	277
□戦後の生活		
私の戦争体験記	大久保とよ	281
戦後の混乱期・想い出すままに	岸 和男	282
戦争前後の歩み	城戸きみよ	285
昭和の戦争の思い出	工藤 幸子	289
平和の尊さをかみしめて	熊谷 敏成	291
終戦体験記	佐々木美奈慈	294

終戦そしてその後	鈴木 治雄	298
老人の主張	成瀬 恒吉	302
小生の従軍の思い出と戦後の混乱期	西澤 太郎	304
被災の記録		
一枚の炬燵掛	相田 アキ	305
銃後	青柳 岩吉	307
戦争なんてコリゴリ	石井志津子	308
私の被災体験	稲毛田広子	309
戦争体験記	岡 定次郎	312
被災体験	岡本 君江	315
銃後の職場において体験した戦争	奥山 四郎	316
私の被災体験	小沢 幸子	320
被災体験	蒲池 富子	322
戦争と犠牲者	工藤 徳子	324
浜松大空襲	佐山 登	326
私の青春時代	中村 久枝	330
敗戦の年	初谷 信	333
東京大空襲と予科練	原 正之助	336

十七歳の青春の記録	廣瀬 利夫	338
横浜空襲体験記	藤倉 和明	342
忘れられない東京大空襲	松崎 絹子	346
戦争体験記	吉川 正則	348
東京大空襲体験記	吉田 和子	350
原爆の記録		
悪魔からの勲章	提橋福太郎	355
夫の遺した原爆の句	白須 寿枝	361
広島原爆と私	刀禰 智	363
原子爆弾による被爆体験	山本義太郎	365
大陸生活・引き揚げ		
内地還送	秋山 三良	369
引揚状況回想文	阿久沢藤四郎	374
化石の聲	大場圭太郎	378
敗戦と引き揚げと	斎藤 敬亮	380
避難の旅に	斎藤 俊	384
満州国新京で迎えた終戦	坂野美知子	388
復員の思い出	佐藤 勝	392

引き揚げ	志村アイ子	395
ダバオの落日	槌谷 笑子	399
二度引揚げの体験を通して	沼田 信子	404
昔、満州当時の思い出	真尾 久一	408
終戦の頃の思い出	三井所綾子	414
大連の灯よさようなら	渡辺千代子	416
抑留の記録		
虜囚記	永田 一視	421
シベリア連行かく逃避せり	後藤 栄	425
捕虜を偲ぶ	酒井三之丞	430
シベリア抑留記(ヤポンスキー)	坂爪 定男	434
三回の応召とシベリア抑留生活	武政 六郎	438
吾が敗戦記	三島 清子	442
我が青春の黙示録	山形 金吾	445
南方で迎えた終戦	山本 文彦	449
平和宣言文		452